

I 京都府の健康を取り巻く環境

1. 京都府の概況

1) 京都府の概要

京都府は、日本列島のほぼ中央に位置し、南北に細長く4,613.21平方キロメートルの面積を有しています。北は日本海と福井県、南は大阪府、奈良県、東は三重県、滋賀県、西は兵庫県と接しています。中央にある丹波山地を境にして、日本海型と内陸型に気候が分かれます。



2) 京都府の推計人口・高齢化率

平成28年11月1日時点の京都府の人口は、260万6,814人、116万3,689世帯です。平成26年の京都府の高齢化率（老年人口割合）は26.9%で、平成52年には36.4%まで高齢化率が上がることが予測されています*1。

3) 地域別の特徴

①丹後地域 *2

丹後地域（宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町）は、京都府の最北部に位置し、変化に富んだ海岸線があり、様々な地質遺産や国定公園、国立公園、自然環境保全地域を有するなど自然景観に恵まれています。農林水産業や織物業、機械金属業など第1次産業、第2次産業の比率が他地域よりも高くなっており、丹後産コシヒカリやブランド京野菜、水産物など、豊かな食に恵まれ、ものづくり産業として根付く織物業や機械金属業では、高い技術力をいかした製品開発など新たな産業発展につながる可能性も秘めています。全国や京都府の平均を上回る少子高齢化が進行する一方、100歳以上の長寿者の比率が府平均の2.5倍となっています。

②中丹地域 *3

中丹地域（福知山市、舞鶴市、綾部市）は、京都府の北部に位置し、丹波山地の山々と日本海に囲まれています。カニ、丹後とり貝などの海の幸や緑豊かな自然の中で育った万願寺甘とうをはじめとしたブランド京野菜、丹波くり・丹波マツタケ等の山の幸など、豊かな食を楽しむことができます。蚕糸業の発展とともに製糸機械製造のための機械工業も盛んに行われて、現在のものづくり産業の礎となりました。

また、日本海側拠点港に選定された京都舞鶴港においては、その機能を強化する整備が進められており、多くの企業が集積する長田野田工業団地、同アネックス京都三和や綾部工業団地等を有する関西北部・日本海側の産業拠点を形成しています。

*1 内閣府平成28年版高齢社会白書「表1-1-8都道府県別高齢化率の推移」データ

*2 京都府丹後広域振興局「明日の京都」丹後地域振興計画

*3 京都府中丹広域振興局「明日の京都」中丹地域振興計画

③南丹地域^{*4}

南丹地域（亀岡市、南丹市、京丹波町）は、京都府のほぼ中央に位置し、北部は急峻な山々が連なる北東部から高原地域となっている北西部にかけて、緑豊かな自然環境に恵まれ、南部は広大な耕作地が広がり、京阪神地域の大都市域にも近接しています。ブランド京野菜の出荷額は府全体の約4割を、畜産の生産額では、府内の約5割を占めており、中でも「丹波ブランド」である黒大豆、大納言小豆、栗、マツタケ等は、日本を代表する質の高い農林産物の生産地として有名です。こうした優れた自然環境や豊かな農林産物に着目して、食品製造業をはじめとするものづくり企業が数多く立地するとともに、新しい産業拠点への企業立地が進んでいます。

④京都市域^{*5}

京都市は、京都府の南部に位置し、三方の山々に囲まれた京都盆地では、山々に源流を持つ清流が、市街地を緩やかに南下しています。四季の移り変わりが明瞭である一方、夏の蒸し暑さや冬の底冷えは、盆地特有の気候となっています。

都心4区を中心とする市街地は、西陣織や友禅等の伝統産業が営まれ、職と住が共存する市街地が広がっており、市街地西部および南部には、機械、電気、化学などの近代工業を営む工場が立地し、ものづくり都市の基盤を形成しています。一方、市街地周辺部では、京野菜などの農業生産が営まれ、北山では磨き丸太の生産など、個性的な農林業が営まれています。また、現在も全国有数の大学都市として知られ、成長企業の中には、大学の知的文化資源をうまく活用した事例も多くあります。

⑤山城地域^{*6}

山城地域（宇治市、城陽市、向日市、長岡京市、八幡市、京田辺市、木津川市、大山崎町、久御山町、井手町、宇治田原町、笠置町、和束町、精華町、南山城村）は、京都府の南部に位置し、宇治川・木津川・桂川の合流点を要に山城盆地が扇状に広がり、河川を臨む地域を中心に市街地が発達し、背後の丘陵地や山地は、茶畑や竹林を含む緑豊かな地域を形成しています。全国的に有名な宇治茶や品質の高いタケノコのほか、ナス・トマト・キュウリなど都市近郊における野菜の生産地であると同時に、各種研究開発施設が立地する関西文化学術研究都市を有するほか、ものづくり企業の集積、多くの歴史的文化遺産など、多種多様な特色があり、大きなポテンシャルを持っている地域です。

<地域の分類について>

京都市域および山城地域は、二次医療圏（一体の区域として病院等における入院に係る医療を提供することが相当である単位として設定）では、次のように分類しています。

- 京都・乙訓医療圏（京都市、向日市、長岡京市、大山崎町）
- 山城北医療圏（宇治市、城陽市、八幡市、京田辺市、久御山町、井手町、宇治田原町）
- 山城南医療圏（木津川市、笠置町、和束町、精華町、南山城村）

*4 京都府南丹広域振興局「明日の京都」南丹地域振興計画

*5 京都市歴史的風致維持向上計画

*6 京都府山城広域振興局「明日の京都」山城地域振興計画

2. 京都府の健康状況

京都府における死因の第1位は悪性新生物（7,734人）、2位は心疾患（4,149人）、3位は肺炎（2,396人）*9です。平均寿命は、男性が80.29歳、女性は86.58歳といずれも全国平均を上回っています。しかし最新の健康寿命（健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間）*10では、男性が70.21歳、女性は73.11歳と全国の平均を下回り、また平均寿命との差が男性で約10年、女性で約14年と長期に亘っていることが大きな課題です。

1) 疾病の状況

京都府における死亡原因の第1位である悪性新生物（がん）では、平成26年には7,734人*9が死亡しています。がんは、早期発見・早期治療により、完治する可能性も高まるため、がん検診の受診率を上げることが重要です。京都府では、全国と比較して、がん検診の受診率が低い部位が多く、がん検診の受診促進・普及活動を行っています。死亡原因2位の心疾患を含む循環器疾患の発症や重症化を防ぐには、生活習慣の改善が重要です。循環器疾患の危険因子として高血圧、脂質異常症、喫煙、糖尿病などが指摘されていることから、これらの原因となりうる食事（食塩摂取量）や運動、喫煙習慣の改善に向けた取組が必要です。

また、医療機関への受診状況を分析*11したところ、他の医療圏と比較して、山城南医療圏や丹後医療圏では予防可能な疾病である糖尿病や高血圧などの受診率が高い傾向にあります。一方、生活の質（QOL）を低下させる人工透析の受診率では、山城北医療圏や京都・乙訓医療圏の割合が高く、今後も糖尿病等の重症化を予防し、人工透析への移行を抑制する取組が重要です。

様々な疾病のリスクを早い段階で察知するためには、特定健康診査・特定保健指導による生活習慣病予防を行うことが重要ですが、京都府の特定健康診査の実施率は全国と比べて低い状況であり、更なる啓発活動が必要です。

2) 生活習慣の状況

平成24年国民健康・栄養調査（厚生労働省）によると、京都府の成人男性（20-69歳）の平均BMIは23.4で、全国平均の23.6を若干下回り、成人女性（40-69歳）の平均BMIは23.2と、全国平均の22.5を上回っています。

京都府の成人男性1人1日当たりの食塩平均摂取量は10.7gで全国平均の11.3gを、女性は9.5gで全国平均の9.6gをともに下回っています。一方で、野菜の成人1人1日当たり平均摂取量は、男性286.8g・女性284.4gで、目標とされる350gは達成できておらず、全国平均の297gを下回っていることから、野菜の摂取量を増やす取組が必要と言えます。習慣的に喫煙している人の割合については、全国平均の33.6%を下回る28.0%となっています。喫煙が健康に及ぼす影響などを周知するとともに、受動喫煙対策も継続していくことが重要です。

*9 京都府保健福祉統計 第2章 人口動態（平成26年）

*10 平成27年12月24日開催 厚生科学審議会健康日本21（第2次）推進専門委員会資料

*11 京都府健診・医療データ総合分析システムに基づく分析